

[http://www.jiji.com/jc/c?g=pol\\_date2&k=2010010700796](http://www.jiji.com/jc/c?g=pol_date2&k=2010010700796)

## 参院選勝利へ政権支える＝民主・細野氏インタビュー

民主党の細野豪志組織・企業団体対策委員長は時事通信社のインタビューに応じ、夏の参院選勝利に向け鳩山政権を全面的に支える考えを強調した。主な内容は次の通り。



インタビューに答える民主党の細野豪志組織委員長＝東京・永田町の衆院第1議員会館（時事）

－小沢氏の党運営は「独善的」との批判がある。

組閣はもちろん、日々の政策もできるだけ鳩山政権に任せる姿勢でいる。幹事長の存在感が抜群なだけに、すべてやっているとみられている部分がある。

－政策調査会廃止で政策も小沢氏が仕切っていないか。

政策は政権がやっている。党は要望の取りまとめはするが、政策立案はやらない。議員はそれぞれ政策会議を通じて政策を実現する。そこは切り分けができています。避けなければいけないのは、与党議員が官僚に情報を流したり圧力を掛けたりして、内閣の判断とは違う政策の実現を図るようなケースだ。

－予算要望で土地改良事業費を半減させたが。

農家への戸別所得補償政策を実現するためには必要なことで、マニフェスト(政権公約)に基づいたものだ。

－団体対策はかなりできたのではないか。

これまでわれわれと比較的縁の薄かった団体で、努力をしたところについては理解は広がったし、そうでないところについては十分な広がりを見せなかったということはあるかもしれない。

－日本経団連との関係はどうするか。

(経団連から)全くアプローチがない。中小企業の声は日常的に聞けるし、中小企業の団体とも日常的に接触しているから、聞くべき声は聞いている。

－小沢氏は首相就任に意欲があるのでは。

小沢氏は鳩山政権を支え、参院選に向けてしっかり態勢を整えていこうという思いが強い。自民党が国民から信任を失ったのは、次から次に首相を変えれば何とかできるという考えに陥ったからだ。われわれはそういう考えはとらないし、幹事長自身もそうだと感じている。

－藤井裕久財務相が辞任し、菅直人副総理が後任になった。

藤井さんは内閣の要の一人だったのでお辞めになったのは大変残念だが、体の問題なのでやむを得ない。菅副総理は実力が十分なのは誰もが認めるところだ。極めて迅速に鳩山由紀夫首相が決断したことは評価されるべきだ。

－今年の抱負は。

最大の仕事は政権交代の結果を一つ一つ出していくことだ。歴史的な政権交代を失敗に終わらせないために、私は鳩山内閣を支える党のワン・オブ・ゼムになり切る。(2010/01/07-18:23)